

事業用トラックが第一当事者となる死傷事故の状況（令和元年）

1. 事業用トラックが第一当事者となる死傷事故の状況（令和元年）（図1）

令和元年の事業用トラックの死傷事故件数は全体で11,629件ありましたが、その内、追突事故が特に多く、48.5%を占めています。また、高速道路での死傷事故件数を見ると1,215件あり、その内、追突事故が66.7%を占めています。高速道路では追突事故が多いのは予想されますが、追突事故66.7%の内、50.6%が駐・停車中の車両への追突となります。

※ 高速道路では、車間距離、制限速度、健康管理、車両管理がポイント！

2. 事業用トラックが第一当事者となる交差点での死亡事故の状況（令和元年）（図2）

①交差点における対歩行者、対自転車の死亡事故（74件）は、追突事故（37件）の2倍

※ 交差点では、特に対歩行者・自転車に注意！

②左折死亡事故は、8割強が大型車による対自転車事故（22件）

※ 大型車の左折時は特に自転車に注意！

③直進死亡事故は、約7割が対歩行者事故（20件）、6割以上が70歳以上の高齢者

※ 直進時は特に高齢の歩行者に注意！

④右折死亡事故は、約9割が対歩行者事故（17件）、7割以上が70歳以上の高齢者

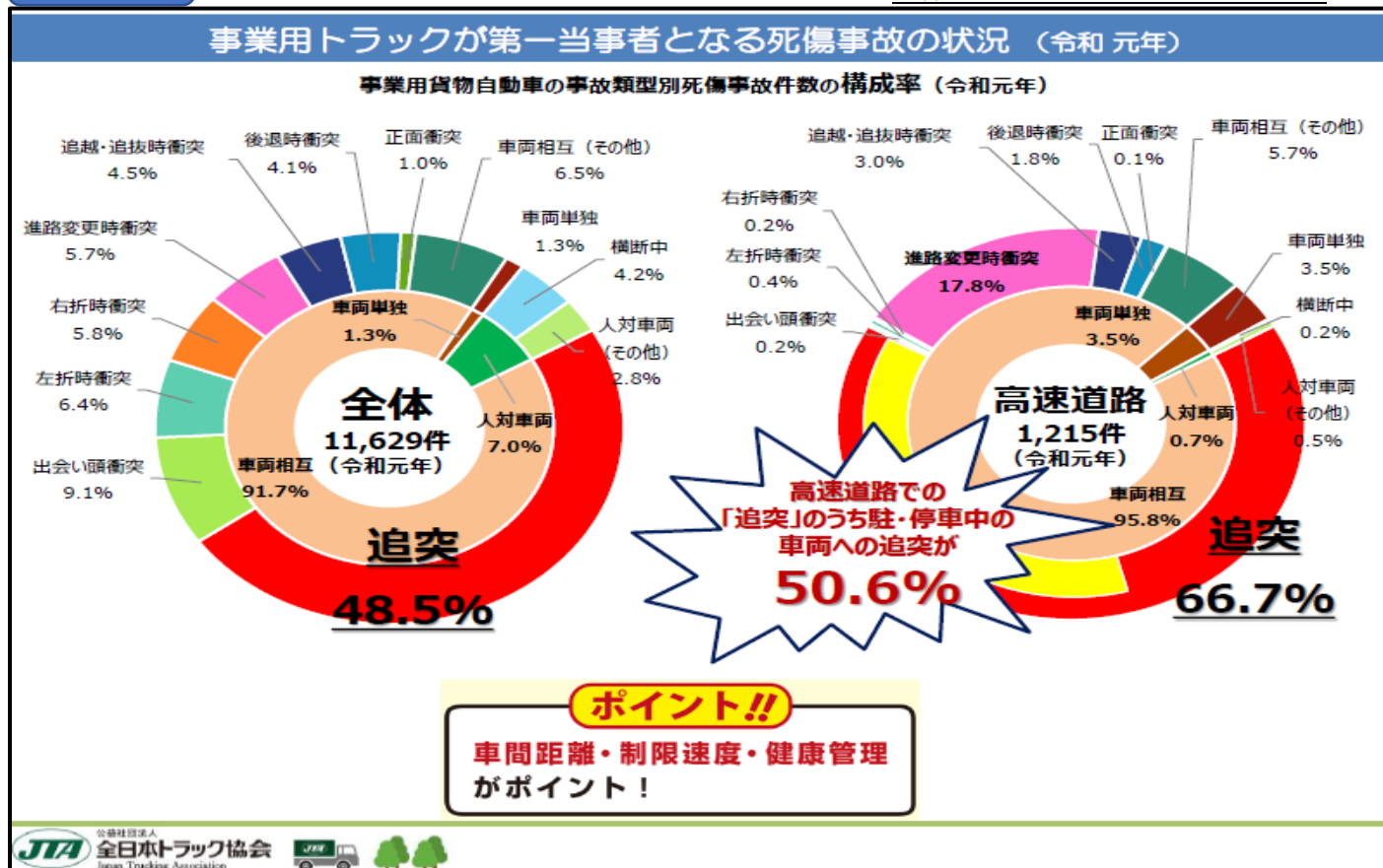
※ 右折時は特に高齢の歩行者に注意！

不明な点は気軽に適正化指導員にお尋ね下さい。

群馬県貨物自動車運送適正化事業実施機関

電話 027-212-8821

図1

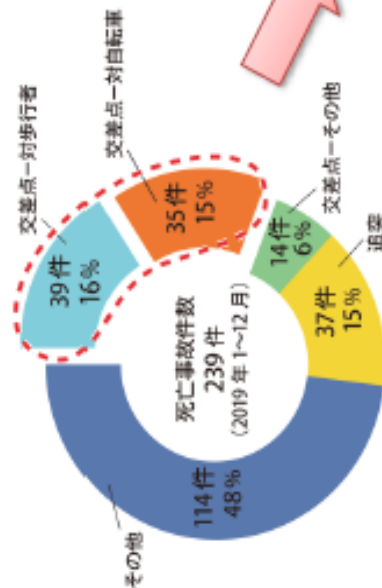


事業用トラックが第一当事者となる交差点での死亡事故の状況（令和元年）

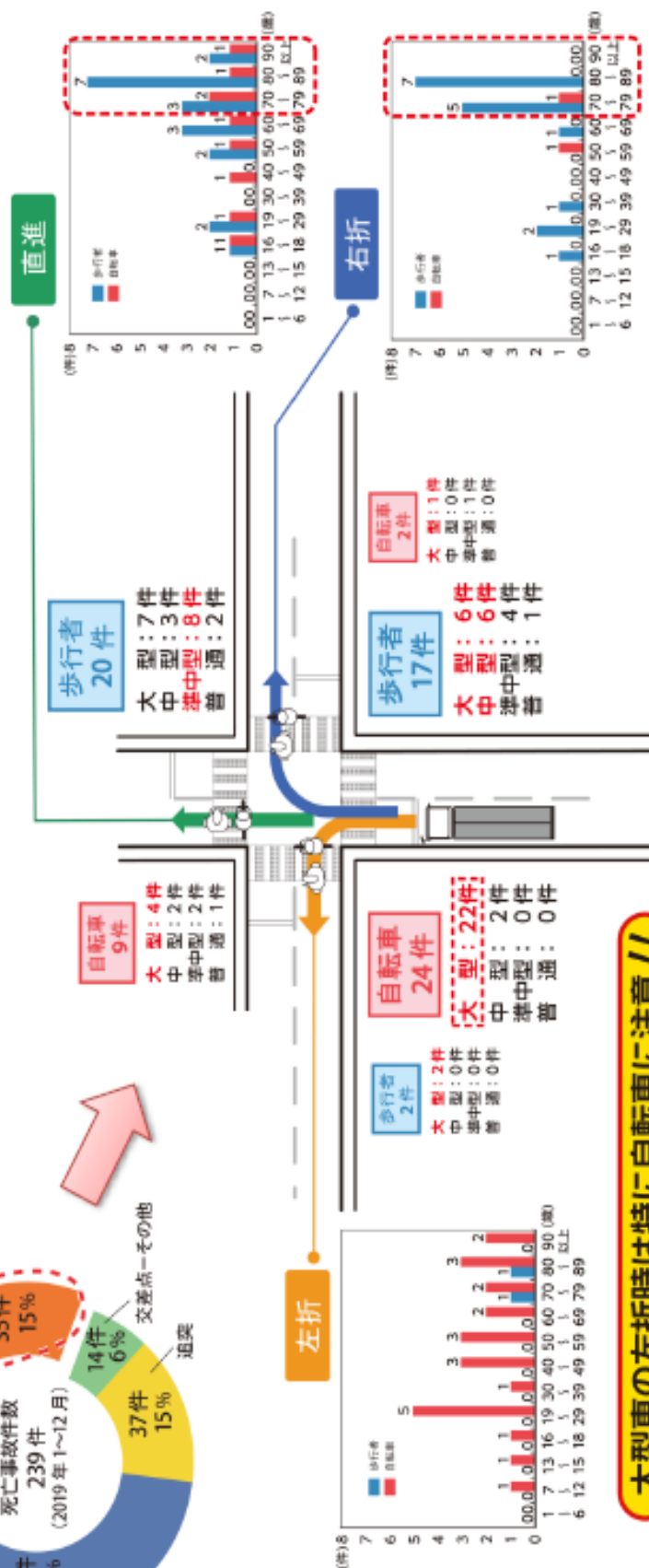
- ・交差点における対歩行者、対自転車の死亡事故（74件）は、追突事故（37件）の2倍。
- ・左折強が大型車による対自転車事故（22件）。
- ・直進死亡事故は、約7割が対歩行者事故（20件）、6割以上が70歳以上の高齢者。
- ・右折死亡事故は、約9割が対歩行者事故（17件）、7割以上が70歳以上の高齢者。

車両区分の解説

大型：車両総重量11t以上
 中型：7.5t以上11t未満
 準中型：3.5t以上7.5t未満
 普通：3.5t未満
 ※本統計データに軽自動車は含まない



直進時と右折時は特に高齢の歩行者に注意!!



大型車の左折時は特に自転車に注意!!

※死傷事故件数は軽自動車によるものを除く 出典：（公財）交通事故総合分析センター